



2020年7月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年12月6日

上場会社名 株式会社鳥貴族
コード番号 3193 URL <http://www.torikizoku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 忠司

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 小畑 博嗣

TEL 06-6562-5333

四半期報告書提出予定日 2019年12月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第1四半期の業績(2019年8月1日～2019年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第1四半期	8,509	4.6	503	269.5	499	297.4	318	442.9
2019年7月期第1四半期	8,923	10.0	136	65.0	125	66.5	58	75.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第1四半期	27.52	
2019年7月期第1四半期	5.07	

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第1四半期	16,626	6,795	40.9
2019年7月期	17,127	6,523	38.1

(参考)自己資本 2020年7月期第1四半期 6,795百万円 2019年7月期 6,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期		4.00		4.00	8.00
2020年7月期					
2020年7月期(予想)		4.00		4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年7月期の業績予想(2019年8月1日～2020年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,403	2.5	847	136.0	823	142.0	469	775.1	40.48
通期	34,605	3.5	1,309	10.0	1,264	10.4	454		39.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年7月期1Q	11,622,300 株	2019年7月期	11,622,300 株
期末自己株式数	2020年7月期1Q	34,764 株	2019年7月期	34,738 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年7月期1Q	11,587,542 株	2019年7月期1Q	11,587,578 株

(注) 当社は、株式給付信託(BBT)を導入しており、純資産の部において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(第1四半期累計期間)	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化や中国の景気減速懸念、日韓関係をはじめ海外における不安定な政治動向等の影響により、国内の設備投資や輸出に成長鈍化の動きがみられ、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

外食業界におきましては、原材料価格の高止まりや、人手不足を背景とした人件費の上昇に併せて、消費税率の引き上げ及び軽減税率制度による消費マインドの変化への対策を迫られる等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社では中期経営計画(2019年8月～2024年7月)を「経営基盤の再構築と更なる飛躍への挑戦」と位置づけ、I.マーケティング戦略の立案と推進、II.店舗網の再構築、III.強固な採算管理体制の確立、IV.海外市場への進出、V.事業活動を通じたSDGsへの貢献のための取り組みに取り組んでおります。中期経営計画の初年度である当事業年度は、既存店の売上強化と管理強化を重要課題とし、顧客価値の向上による売上最大と徹底したコスト管理に取り組むことで採算性の向上に努めてまいりました。

10月のメニュー改編では新たな焼鳥メニューとして「ちからこぶ(タレ・塩)」が商品化され高い支持を得ているとともに、「プレモル・メガハイ大還元祭」を実施いたしました。また『鳥貴族』×『ベビースター』がコラボした当社のメニューを期間限定(8月16日～9月30日)で発売するなど、顧客価値の向上につながる取り組みを行うとともに、当社監修のコラボ商品が菓子メーカーより販売されるなど認知度の向上にも取り組んでまいりました。

なお、当第1四半期累計期間は新規出店及び退店は無く、当第1四半期会計期間末日における「鳥貴族」の店舗数は659店舗、当社の直営店は413店舗であります。

以上の結果、当第1四半期累計期間は、前事業年度に行った20店舗の業績不振店の退店等により店舗数が10店舗純減となったこと、2019年10月の台風19号をはじめとする天候不順等により、売上高は8,509,743千円(前年同期比4.6%減)、売上総利益は6,086,005千円(同3.1%減)となりました。一方、採算の管理に徹底し取り組んだこと、前事業年度に行った業績不振店の退店が寄与したこと等により、販売費及び一般管理費は5,582,440千円(同9.2%減)となり、営業利益は503,565千円(同269.5%増)、経常利益は499,323千円(同297.4%増)、四半期純利益は318,831千円(同442.9%増)となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は16,626,562千円となり、前事業年度末と比較して500,976千円の減少となりました。これは主に減価償却による固定資産の減少及び法人税等の納付により現金及び預金が減少したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債は9,830,653千円となり、前事業年度末と比較して773,262千円の減少となりました。これは主に返済による長期借入金の減少及び前受収益の減少等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産は6,795,909千円となり、前事業年度末と比較して272,285千円の増加となりました。これは利益剰余金が四半期純利益の計上により増加した一方、配当金の支払いにより減少したことによるものであり、自己資本比率は40.9%(前事業年度末は38.1%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年9月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,105,536	4,013,481
売掛金	342,900	409,394
商品及び製品	122,681	116,638
原材料及び貯蔵品	21,794	18,038
その他	1,143,265	1,049,197
流動資産合計	5,736,177	5,606,750
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,358,516	7,223,468
その他(純額)	1,272,454	1,153,530
有形固定資産合計	8,630,970	8,376,998
無形固定資産		
	76,891	72,508
投資その他の資産		
差入保証金	1,643,861	1,634,164
その他	1,040,058	936,559
貸倒引当金	△420	△420
投資その他の資産合計	2,683,499	2,570,304
固定資産合計	11,391,362	11,019,812
資産合計	17,127,539	16,626,562
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,173,265	1,280,614
1年内返済予定の長期借入金	799,573	760,346
未払金	1,483,205	1,376,763
未払法人税等	149,780	137,224
前受収益	1,905,693	1,695,280
賞与引当金	323,554	160,919
株主優待引当金	29,252	17,844
その他	1,067,555	1,031,655
流動負債合計	6,931,880	6,460,648
固定負債		
長期借入金	1,710,236	1,533,573
退職給付引当金	92,193	90,754
役員株式給付引当金	10,662	10,662
資産除去債務	1,091,674	1,095,309
その他	767,268	639,704
固定負債合計	3,672,035	3,370,004
負債合計	10,603,916	9,830,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,829	1,491,829
資本剰余金	1,481,829	1,481,829
利益剰余金	3,639,856	3,912,198
自己株式	△89,891	△89,947
株主資本合計	6,523,623	6,795,909
純資産合計	6,523,623	6,795,909
負債純資産合計	17,127,539	16,626,562

(2) 四半期損益計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)
売上高	8,923,340	8,509,743
売上原価	2,642,328	2,423,737
売上総利益	6,281,012	6,086,005
販売費及び一般管理費	6,144,733	5,582,440
営業利益	136,279	503,565
営業外収益		
受取利息	54	41
保険解約返戻金	-	2,492
受取保険金	-	5,703
その他	10,972	3,459
営業外収益合計	11,026	11,695
営業外費用		
支払利息	17,602	12,168
支払手数料	934	248
その他	3,132	3,521
営業外費用合計	21,669	15,938
経常利益	125,636	499,323
特別損失		
固定資産除却損	0	362
特別損失合計	0	362
税引前四半期純利益	125,636	498,960
法人税、住民税及び事業税	28,339	87,429
法人税等調整額	38,565	92,700
法人税等合計	66,905	180,129
四半期純利益	58,730	318,831

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。